

液体貯留増大の発生機序について、血腫周囲の低酸素症や静脈うっ滞により、その部位の細静脈から、浸出液の漏出が起こったことや drain 除去後の valve action などが想定された。

#### A-8-2) 術中レーザー血流測定を用いた定位的脳内血腫除去術

大山 秀樹 (康雄会西病院脳神経外科)

高血圧性脳内出血に対する CT 定位手術は安全で手術も容易なことから、現在この疾患の治療の主流になっている。あらゆる部位の血腫を吸引除去出来る反面吸引率はそれ程良くなく諸家の報告でも平均60%程度である。今回はできるだけ吸引率を上げ、合わせて血腫周囲の局所脳血流量を測定する目的でレーザードップラー血流測定プローベを術中モニターとして用いているので報告する。方法は駒井式定位手術装置を用い局所脳血流量を測定しつつターゲットに向かいレーザープローベを挿入した。始め 10mm ピッチでターゲット以降は 2~3mm ピッチで明らかな血流量の増加が認められるまでプローベを挿入し、血腫の範囲を推定した。血腫の吸引は、この間でカニューレを前後させ行った。結果は吸引率では平均85%と良好であり、トラックに沿った局所脳血流量は皮質下から極端に低下しており、従来報告とも一致し脳血流低下の影響はかなり広範囲に及んでいることが示唆された。

#### A-8-3) 被殻出血の CT 定位血腫吸引術

—CT分類Ⅲa・Ⅲb群の control study—

竹内 淳子・柳田 範隆 (由利組合総合病院 脳神経外科)  
進藤健次郎

今回我々は被殻出血 Ⅲa・Ⅲb 群に属する症例で、退院時 ADL を手術群と非手術群とで比較検討したので報告する。期間は 1984 年から 1990 年で手術群は、1987 年~1990 年の被殻出血 128 例中 Ⅲa・Ⅲb 群で CT 定位血腫吸引術を施行した24例とした。またコントロール群は 1984 年~1986 年の被殻出血 106 例中 Ⅲa・Ⅲb 群32例から、高齢 (75歳以上)、脳卒中既往、重度合併症、小血腫および軽症例、また開頭術、CT 定位血腫吸引術施行例を除外した11例とした。手術群の平均は、年齢 56.3 歳、最大血腫径 42.4 mm、血腫量は 21.3 ml であり、平均血腫吸引率は 74.2%であった。またコントロール群の平均年齢は 62.5 歳、最大血腫径 39.2mm、

血腫量 12.9 ml であった。ADL 1 になった症例は手術群に多く、術直後から麻痺が改善する症例もあることから、Ⅲa・Ⅲb 群には積極的に施行するべきと考える。

#### A-8-4) 中脳出血の 2 例

小保内主税・菊地 康文 (岩手医科大学 脳神経外科)  
金谷 春之

中脳原発の出血の報告は、CT の出現により増えてはいるが未だ少ない。今回、中脳出血 2 例を経験したので若干の文献的考察を加え報告する。症例 1 は 70 歳の男性。複視で発症。初診時、意識清明で左>右の瞳孔不同、顔面を含む軽い右片麻痺を認めた。CT では左大脳脚に小さな出血を認めたが、入院後間もなく CT 上血腫は消失。MRI により出血が確認された。保存的に加療し、軽い眼球位置異常を残し退院した。症例 2 は 57 歳の男性。頭痛と眩暈で発症。初診時、意識清明、両側眼球軽度内転位、上方注視麻痺を示した。CT では中脳四丘体に出血を認めたが、MRI 所見より病巣は中脳被蓋と考えられた。入院後、脳室ドレナージを行ない、軽度の上方注視麻痺及び内斜視を残し退院した。いずれの例でも脳血管撮影では明らかな AVM、異常血管等の所見はなかった。脳幹部病変では様々な神経症状が出現するが、その責任病巣を明らかにする為には MRI が極めて有用と考えられる。

#### A-8-5) 新生児脳室内出血の 4 例

井上 明・佐藤 進 (山形県立中央病院 脳神経外科)  
関口賢太郎・谷口 禎規 (山形県立中央病院 小児科)  
大倉 良夫  
近岡 秀郎・渡辺 真史 (山形県立中央病院 小児科)

脳室周囲および脳室内出血 (以下 IVH) の早産児 4 例を経験したので報告する。【症例 1】在胎 26 週妊娠中毒のため帝王切開で出生、1180 Gr, Apgar 3. 生後 2 日目に貧血進行し、IVH の診断。腰椎穿刺で髄液排除。水頭症進行し、VP シャント術施行。9 歳の現在、精神発達障害が著明でねたきりの状態。【症例 2】在胎 35 週で出生、1528 Gr, Apgar 4. 生後 6 日目に急速に頭頂拡大し IVH の診断。腰椎穿刺で髄液排除。水頭症進行し、VP シャント術施行。1 歳 6 ヶ月の現在、精神発達障害が著明でねたきりの状態。【症例 3】在胎 26 週で出生、948 Gr, Apgar 5. 生後 24 時間以内に急速に貧血が進行し IVH 疑われた。12 週目の CT で水頭症認めら